2022年度就職先アンケート結果

今年度の卒業生の就職先47施設に配布し35部の回答を得、記載が得られた34部を集計しました。 (有効回答率74%)

Ⅰ-1. 対象の施設規模

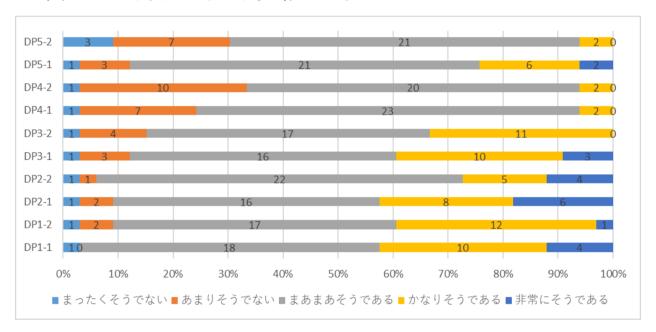
	度数	%
100床~299床	5	14. 7
300床~499床	11	32. 4
500床以上	17	50.0
その他	1	2. 9
合計	34	100.0

I-2. 卒業生人数

	度数	%
5名未満	29	85. 3
5~10名未満	2	5. 9
10名以上	1	2. 9
不明	2	5. 9
合計	34	100. 0

II. 卒業生にDPで示す力がどれだけ身に着いているかについて

n = 33



【自由記述】

1 5つの力について

- ・就職して約1年のため研究的取り組みを求めるのはハードルが高いと感じました。他者との関係構築や業務に必要な学習はうまく進められており大学できちんと学ぶことができたのだろうと推察している。
- ・様々な経験・学習を通してチームで働く力、人間の尊厳と権利を擁護する力を身に着けている と感じます。就職し看護師として働くようになってから、多くの失敗、挫折を経験しています。 折れないしなやかな心が人間として成長することにつながると思っています。
- ・学習した成果などは指導者より確認しないと自分から出したり、確認を求めたりという行動 は乏しいです。自己教育力を評価する際に難しいなと感じる今日この頃です。

- ・基本的な能力を身に着け、医療チームの中で自己の役割を認識し、役割を果たすために努力しています。ただ、設問の10に関しては現時点では取り組みを行っていないため評価するには時期が早いように感じます。
- ・人間性は素直で好意がもてます。元々の性格から非常におとなしくやや自発性に欠けています。こちらから課題を与えればきちんと学習はしますし、指導者の思考発話を聞いて本人なりに臨床での推論力を上げるように努力していると思います。まだ1年目なので今後医療者としても一人の人間としても成長していけるように支えていきます。
- ・新人看護師であり、グローバルの部分や専門性の探究、研究的取り組みに関しては、本人が 日常の看護実践を学ぶことに必死であり、また臨床としてもまだ新人に高いレベルは求めてい ないので評価を2とさせてもらいました。
- ・新人看護師を受けいれ成長の度合い(推移)を観ていくうえでお互いが共通指標となるため 良いと思う。
- ・チームで働く力では新人看護師によってチームで協働できる人もいればスタッフとのコミュニケーションが十分ではなく協働があまりできていない部分もみられる。新人看護師は問題があるときはスタッフに相談しながら解決しているため自分での問題解決力はできていない部分が多い。
- ・チームで働く力、問題解決力、看護の専門性を探究する力は内容が難しく評価しづらい。
- ・1年間看護師として成長するために自己での学習を含めとてもよく頑張っていたと思いますが、航空業界入り、もともと進む予定だったようで、今年度での辞職となります。年度途中での辞職を考えたようです。一年間指導に携わってきたものとしてとても残念に思います。
- ・問題解決力については新規採用者のため関わる事例が少ないことから現時点では評価が難しい。なおチームで働く力はチームの一員として自分の立場を認識し、他者と協働することができている。
- ・上記での教育をされていることがわかったので今後の育成指導に活かしていきたい。
- ・5月初め頃より休みはじめ、出勤しても3日程度しか勤務できなかった。長期休職となり復職 プログラム(本人用)にて4日/週、半日勤務したが継続することができなかった。4月より合わ せて30日足らずしか勤務していないため評価が難しい。
- ・自己教育力において、自己を客観的に評価する力が不慣れであることが読み取れました。いずれも学力等の能力はとても高いケースでしたので実施指導者、教育担当者、部署の管理者、 それぞれが本人の力を承認したり、内省を促すような丁寧な関わりが重要であると考えていま
- ・すべての項目についてとても頑張っていると思います。けれども病棟の特性もあり、正しく 評価できるほどの症例もなかったため、かなりあいまいな評価になってしまいました。
- ・貴校の卒業生9名のうち1名が途中退職となりました。個人の状況には差があるため全体での評価は難しいと感じます。全体的には1年を通して前向きに取り組むことができています。
- ・重心看護で5つの力を用いて実践するのはとても大変と考える。プリセプターナースがその都度発問しながら自己の行動を振り返る習慣をつけないと成長(プリセプティ)させるのは時間がかかります。

・成人した一人の大人として成長過程であるが他人に依存心が強い。自分の担当患者なのにほかの人がしてくれたからと責任感が欠けている。研修の課題についても主体的に行えていない。 わからないことを自分から学習しようとしない。

【まとめ】

一定の評価は得られているが、新人看護師が対象であることから、問題解決力や専門性の探 究、研究的取り組みに関する評価は困難であることが分かった。

皿.DSの利用について

	度数	%
DSを活用した	5	14. 7
DSを活用しなかった	26	76. 5
無回答	3	8. 8
合計	34	100. 0

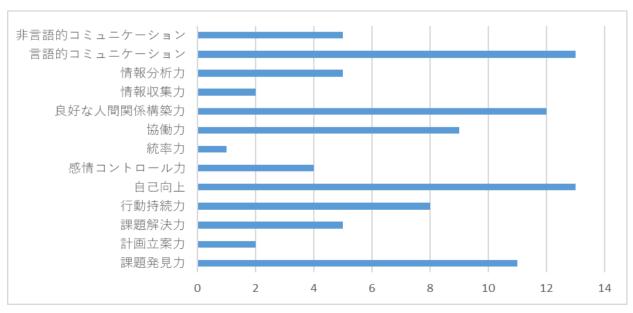
【DSを活用しなかった理由】

- ・DSの存在を知らなかった。(19名)
- ・他の新人と同じ指標で評価するため。(2名)

【DSを活用した理由】

- ・新人自身の成長の指標として自己評価をすることで振り返り継続的な教育・支援ができるように活用してみた
- ・本人の同意を得てDSの内容を見せてもらった。その後当院看護部では新人看護師に対して年3回(入職時・半年後・1年後)キャリアパススケール調査をしているため教育担当師長、部署の師長が面談の際に成長度などフィードバックに活用している。

Ⅳ. 本学で強化してほしい力



【まとめ】

昨年度の結果では、自分を向上させる力が最も多く、ついで言語的コミュニケーション、課題発見力、次に多かったのが課題解決力、非言語的コミュニケーションであった。今回も概ね同様だったが、非言語的コミュニケーションについては、コロナ禍の学生生活や学習環境であったため、非言語的コミュニケーション力は培われている可能性がある。

6. 本学の教育・卒業生に望むこと

- ・現場に必要なコミュニケーションのタイミングが分からず報連相が遅れる傾向が強く、個性もあるが、指示待ちではなく自ら指示を受けれるように積極性があるといい。
- ・専門職として医療人として成長しようという意欲を育んでほしい。
- ・今後も看護の楽しさややりがいを感じながら成長できるような人材の育成を望みます。
- ・コロナ禍の影響でか、必要最低限の患者さんとのコミュニケーションは図れる、同業者・他 職種とのコミュニケーションは十分ではない。実習や学生生活の中で、もう少し培われている とよかったと思う点である。
- ・入職してまずは社会人基礎力や患者やスタッフとのコミュニケーションが重要となるため学生 のころからの教育を望む。
- ・学生を社会に輩出されたあとも当調査等を行いより良い教育体制整備に望まれておりありが たく存じます。
- ・スタッフや患者さんと人間関係を形成できるコミュニケーションスキルの基本を教育に組み 込んでほしい。病院も家族の面会を禁止している部署がほとんどであるが新卒者のなかから「家 族対応ができるか不安」「クレームを言われたら恐い」という言葉が聞かれたため。
- ・協働する力、コミュニケーション能力等が低い人材は大きな組織(コミュニティ)で働くこと(業務を行うこと)は、本人にとっても難しい現状がある。本人の意思での就職だと思うが 傷つくことも多いことがある。
- ・主体性、課題発見力、働きかける力など自己を表現し、他者へ働きかけることができない。 一歩前に踏み出し失敗しても粘りづよっく取り組む力をつけてほしい。学生時代に失敗や挫折 を経験し乗り越える力自尊感情を高める教育を望む。コミュニケーション技術(能力)を身に 着けてほしい
- ・卒業生の中には、自己肯定感の低い生徒さんもいらっしゃると思います。通学は実習参加が難しくなったり、精神的ケアが必要なケース些細な点などございましたら情報頂けると幸いです。今年度の卒業生におきましても提出期限を守れないケースがありました。例年同様の傾向が認められるため引き続きご指導いただけたらと思います。
- ・今年度の新入生(新人)の個性かもしれませんが、とてもまじめで積極的に看護に臨んでいると思います。とても好感がもてます。あとは自分に自信をもっともってくれればと思うところではありますが、まだ1年、今後に期待したいと思います。

- ・まずは自分の考えを相手に伝えることができるようになってほしいと思います。患者さんと の会話やチーム医療の中でコミュニケーション力はかなり重要な要素であるためその力をつけ てほしいと思います。
- ・仕事と家庭の両立はとても大変だと思います。
- ・積極性、患者とのコミュニケーション等の強化お願いします。
- ・自己の状態を繰り返し振り返り自己評価する機会や自己表現する機会がこれから多く持つことを期待します。
- ・残念ながらご結婚の予定があるとのことで3月末で退職されます。当院で看護の魅力を感じてもらえないままとなってしまったと思います。もう少し自分から発信する力前に踏み出す力など失敗しても良いのでチャレンジして欲しかったと思います。そのような環境であったのだとこちらも振り返りが必要だと思っています。

【まとめ】

報連相や医療従事者や家族とのコミュニケーションスキルを向上させること、看護に関心を持ち、探究する姿勢が求められていた。